

広報委員会の活動と今後の方針

MATSUZAKA Masashi

松坂 方士

弘前大学 / JACR 理事



杉山裕美

放射線影響研究所

片山佳代子

群馬大学

田淵健

東京都がん登録室

森島敏隆

大阪国際がんセンター

阪口昌彦

大阪電気通信大学

広報委員会では都道府県がん登録室や院内がん登録室、がん登録を利用した研究の紹介、がん対策の今後に関する提言などをご寄稿いただき、ニュースレターを通して会員の皆さまのがん登録運営に役に立つ情報を発信してきました。また、協議会ホームページの内容を見直し、がん対策の基盤であるがん登録の重要性をアピールすることにも努めています。

がん登録等の推進に関する法律の施行に伴い、都道府県は精度向上の一步先であるデータ利用への対応が必要です。また、当協議会が進めているJ-CIP事業に代表されるように、がん登録データはがん対策のさまざまな場面で重要な鍵となりますので、広報委員会ではこれらについて情報提供して参ります。また、ニュースレターで院内のがん患者支援や都道府県のがん対策に役立つ知識を提供して、実務者や行政担当者ががん登録への理解を深めることをお手伝いすることで、当協議会の活動が今後の都道府県のがん対策にさらに貢献できるように努めていきたいと考えています。

毎年の学術集会では、院内がん登録からの優れた研究発表や活動報告が目立っています。今後はますます協議会内での院内がん登録に関する情報交換が盛んになってくるものと予想され、そのプラットフォームとしてニュースレターや協議会ホームページを活用したいと考えています。また、院内がん登録と全国がん登録の担当者・実務者レベルでの意見交換の場は、当協議会でしか提供できないものと自負しています。これからさまざまな企画を通じて、広報委員会が全国がん登録と院内がん登録の協調的な発展のお手伝いをしたいと思っています。また、Covid-19 流行が始まって以来、それまでのように会員の皆様が直接顔を合わせる機会が減っており、ニュースレターでの新企画等により交流を促進していく予定です。

会員の皆様から「このような情報が欲しい」というご意見をいただければ、ぜひ検討させていただきたいと考えていますので、宜しくお願いします。

教育研修委員会報告

ITO Hidemi

伊藤 秀美

愛知県がんセンター / JACR 理事



大木いずみ

埼玉県立大学

杉山裕美

放射線影響研究所

金村政輝

宮城県立がんセンター

中田佳世

大阪国際がんセンター

田中里奈

弘前大学

寺本典弘

四国がんセンター

海崎泰治

福井県立病院

小塚祐司

三重大学医学部附属病院

中林愛恵

島根大学医学部附属病院

松本吉史

大阪医科薬科大学病院

齊藤真美

北海道がんセンター

教育研修委員会は、がん登録の実務、登録ルール、データ利用など多種多様な専門分野を持ち、院内がん登録・全国がん登録などの現場で実際に活躍するエキスパートで構成されています。「JACRががん登録実務者の教育・研修支援するために何ができるか考える」という立場で様々な提案や支援を行います。

主な活動は、学術集会における実務者研修会の企画や支援、総会時のがん登録実務功労者表彰です。JACR学術集会東京大会に引き続き長野大会でも、実務者の交流を目的としたリモート情報交換会を中林委員と松本委員を中心に企画しました。

また、国際研究への参加支援も行っています。2021年7月にIACR(国際がん登録協議会)から「五大陸のがん罹患第12巻(CI5-XII)」へのデータ提供依頼があり、初参加する都道府県に対し、大木委員、杉山委員を中心にデータ提供支援を行いました。今後、本活動は、国際交流委員会と連携を図りながら行っていきます。

最後になりますが、2022年7月に、大木前委員長より、伊藤が委員長を引き継がせていただき、齊藤委員を新たなメンバーに迎え、新体制となりました。今後も引き続き、がん登録の向上の一助になるよう、全国・院内がん登録実務者の教育・研修支援活動を行っていききたいと思います。